

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 1	
事業種別	治山事業	事業主体	青森県	
事業名	予防治山事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	東碓ヶ関山 (平川市)	事業方法	● 国庫補助 ○ 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	○国50% ○県50%	
事業の背景・必要性	本地区は、平成18年9月の大雨により溪岸崩壊等が発生し、溪流内に堆積した不安定土砂が今後の大雨により下方の人家や用水路に流出する恐れがあることから、土砂流出防止に効果がある治山ダム工を設置し、崩壊斜面を直接復旧する山腹工により流域内を安定させ、土砂流出被害を未然に防止したものである。			
主な事業内容 (事業量)	治山ダム 1個、山腹工A=0.80ha、森林整備A=3.06ha			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 災害防止効果 ・土砂流出による被害から人家等を保全する効果 《その他の効果》			
事業の実施経過	《事業着手》平成19年度 《用地着手》		《工事着手》平成19年度 《事業完了》平成22年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H18年) 〔当初計画時〕	再評価時(年)	事後評価時(H26年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H19 ～ H20	～	H19 ～ H22	
総事業費	50 百万円	百万円	148 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	～	～	～	～
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	(変更内容) 平成19年融雪や平成19年9月大雨による崩壊が増加・拡大し、下方の保全対象を考慮(土砂災害特別警戒区域)すると、崩壊斜面を直接復旧整備する山腹工を主体とした復旧対策に見直す必要があったため、山腹工等の事業量が増加し事業費が増加した。(治山ダム工2個→1個、山腹工A=0.00→山腹工A=0.80ha、森林整備A=0.00ha→3.06ha)			
《事業概要図》				
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>▲ 計画治山ダム工</p> <p>■ 計画山腹工</p> <p>■ 計画森林整備</p> <p>▲ 既設治山ダム工</p> </div> <div style="text-align: right;"> <p>山腹工</p> <p>治山ダム</p> </div> </div>				
担当部課室名	農林水産部 林政課	電話番号	017 - 734 - 9524	
		E-MAIL	rinsei @pref.aomori.lg.jp	


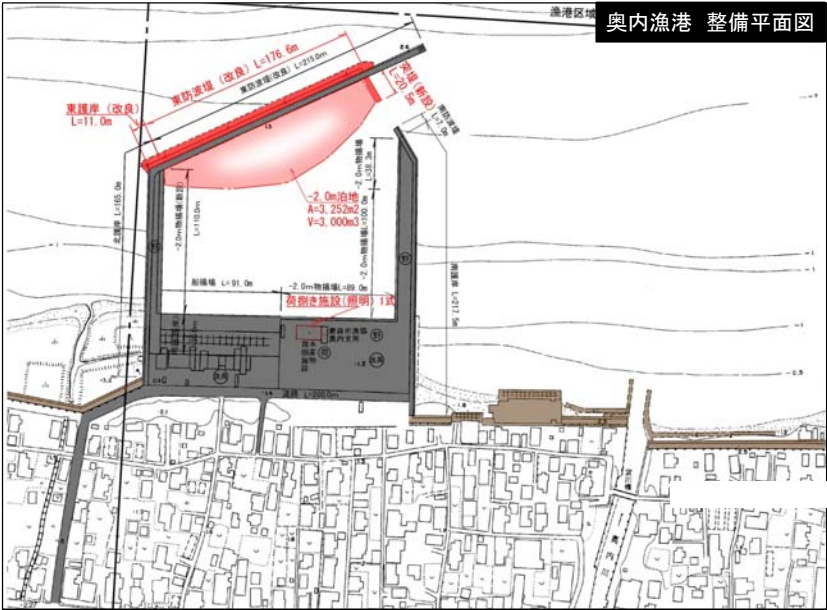
公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 12	
事業種別	農業農村整備事業	事業主体	青森県	
事業名	広域農道整備事業(農道保全)	管理主体	藤崎町	
箇所名等 (市町村名)	南津軽 (藤崎町)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	● 国 50% ● 県 38.3% ● 市町村 11.7% ○ その他 %	
事業の背景・必要性	当該路線は、南津軽地区広域営農団地農道整備事業で整備された路線であり、平成元年度から順次供用を開始し、農産物の流通幹線道路として、地域の農業振興の中心役割を担ってきた。交通量が増加したことにより、局部的に路面の劣化や亀甲状クラックが見られ、運転の安全確保に支障を来していた。そこで路面改良を行うことで、路面の劣化・損傷箇所を修繕し、農道本来の機能の回復・保全を行ったものである。			
主な事業内容(事業量)	舗装工(路面改良)L=1,580m			
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <p>(1)品質向上効果 ・荷傷みを防止することで農産物の質的向上が図られる効果</p> <p>(2)維持管理費節減効果 ・農道の維持管理費が節減される効果</p> <p>(3)走行経費節減効果 ・農産物の生産及び流通に係る走行経費が節減される効果</p> <p>(4)一般交通等経費節減効果 ・農業以外の一般車両の通行に要する経費が節減される効果</p> <p>《その他の効果》 -</p>			
事業の実施経過	《事業着手》H21	《用地着手》-	《工事着手》H21	《事業完了》H22
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H20年) 〔当初計画時〕	再評価時(年)	事後評価時(年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H21 ~ H22	~	H21 ~ H22	
総事業費	70 百万円	百万円	100 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H22年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H21 ~ H22	~	~	~
総事業費	101 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	【計画変更理由】 路面診断の結果、路面改良の施工延長が1,300mから1,580mとなったことによる事業費の増。			
《事業概要図》				
担当部課室名	農林水産部農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9555	
		E-MAIL	noson @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 18	
事業種別	農業農村整備事業	事業主体	青森県	
事業名	防災ダム事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	五戸川3期 (三戸郡新郷村)	事業方法	● 国庫補助 ○ 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	○国 55% ○県40% ○市町村 5% ○その他 %	
事業の背景・必要性	二ノ倉ダム及び又木戸ダムにおいて、ダム本体、操作設備、観測機器の老朽化が進んだため、ダム下流域に対する安全確保のため改修したものである。			
主な事業内容 (事業量)	管理施設工 N=1式 堤体遮水舗装工 N=1式			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 (1)災害防止効果 ・洪水調節により下流域での農地、農業用施設等の被害を防止する効果 ・一般公共施設の被害を防止する効果 (2)更新効果 ・防災ダム施設を改修することにより、防災ダムの機能が喪失することなく継続して発揮される効果 《その他の効果》			
事業の実施経過	《事業着手》 H13	《用地着手》 -	《工事着手》 H14	《事業完了》 H22
公共事業評価の実施時期	事前評価時(一年) [当初計画時]	再評価時(H18年)	事後評価時(H27年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H13 ~ H17	H13 ~ H21	H13 ~ H22	
総事業費	1,000 百万円	1,012 百万円	683 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	最終総事業費が計画時に比べて大幅に低額になったのは、堤体工のコスト縮減を図ったことによる。			
《事業概要図》				
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">二ノ倉ダム</div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">又木戸ダム</div>		
担当部課室名	農林水産部 農村整備課	電話番号	017 - 734 - 9556	
		E-MAIL	noson @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 23	
事業種別	水産基盤整備事業	事業主体	青森県、青森市	
事業名	漁村再生交付金事業	管理主体	青森県、青森市	
箇所名等 (市町村名)	奥内地区 (青森市)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
事業の背景・必要性	<p>本地区は、低気圧等の荒天時において、防波堤及び護岸からの越波により、安全な漁船の係留や漁具の積み込み及び荷下ろし作業ができない状況であったほか、用地への冠水に伴う漁具の流出被害が発生していた。また、越波とともに砂が港内に入り込み堆積したことから、-2mの水深が確保された泊地の面積が減少し、操船に支障を来していた。本事業は、これらの状況を改善するため、防波堤や護岸、泊地等を整備し、漁業活動の効率化と安全性の向上を図ったものである。</p>			
主な事業内容 (事業量)	東防波堤176.6m、突堤20.5m、東護岸11.0m、-2.0m泊地3,252m ² 、荷捌き施設(照明)1式			
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <p>(1)水産物生産コストの削減効果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防波堤等の整備により港内静穏度が向上し、漁船同士の接触等が解消され耐用年数が延長される。 ・防波堤等の整備により港内静穏度が向上し、漁具の積込、荷卸しに係る労働時間が短縮される。 <p>《その他の効果》</p> <p>—</p>			
事業の実施経過	《事業着手》平成20年度 《用地着手》—		《工事着手》平成20年度 《事業完了》平成22年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(H19年) 〔当初計画時〕	再評価時(年)	事後評価時(H27年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H20 ～ H22	～	H20 ～ H22	
総事業費	299 百万円	百万円	206 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	～	～	～	～
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	<p>■東防波堤等の改良にあたり、既存の消波ブロックの有効活用を図りコスト縮減に取り組んだ結果、実績事業費は計画事業費に対し、93百万円の減額となった。</p>			
《事業概要図》	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p style="text-align: center;">事業実施位置図</p>  </div> <div style="width: 65%;"> <p style="text-align: right;">奥内漁港 整備平面図</p>  </div> </div>			

担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9614
		E-MAIL	gyoko @pref.aomori.lg.jp

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 24	
事業種別	水産基盤整備事業	事業主体	青森県	
事業名	広域漁場整備事業	管理主体	三厩沖人工礁漁場管理運営協議会	
箇所名等 (市町村名)	三厩地区 (外ヶ浜町)	事業方法	● 国庫補助 ○ 交付金 ○ 県単独	
事業の背景・必要性	本地区では、漁業者の高齢者や後継者不足、スルメイカ等の広域性回遊資源に依存する不安定な漁業形態など、漁業経営は極めて厳しい状況にある。このため、魚礁の設置により、ヒラメ、カレイ類、ソイ類等の蛸集・滞留を図り、一本釣、刺網漁業等の漁獲量の安定・増大、漁獲効率の向上を図るものである。			
主な事業内容 (事業量)	魚礁の設置: 62,975.1空 ³			
想定した事業効果	<p>《金銭価値化が可能な効果》</p> <p>①施設整備による生産量の増加効果 ②出荷過程における流通業に対する生産量の増加効果 (※流通・小売段階の取扱量増による便益の発生)</p> <p>《その他の効果》</p> <p>魚介類の産卵効果、幼稚仔の保護・育成効果による水産資源の増大効果</p>			
事業の実施経過	《事業着手》平成13年度 《用地着手》		《工事着手》平成13年度 《事業完了》平成22年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(一) 〔当初計画時〕	再評価時(17年)	事後評価時(27年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	13 ～ 22	13 ～ 22	13 ～ 22	
総事業費	1,760 百万円	1,178 百万円	1,071 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H13年)	第2回計画変更(19年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	13 ～ 22	13 ～ 22	～	～
総事業費	1,178 百万円	1,083 百万円	百万円	百万円
特記事項	<p>・平成17年度に再評価を実施。附帯意見無し。対応方針は継続。</p> <p>・計画変更の理由: ①第1回: 礁体の変更による事業量・事業費の変更、②第2回変更: 魚礁の集約的な配置による事業量の変更</p>			
《事業概要図》				
担当部課室名	農林水産部 水産局 漁港漁場整備課	電話番号	017 - 734 - 9615	
		E-MAIL	gyoko @pref.aomori.lg.jp	


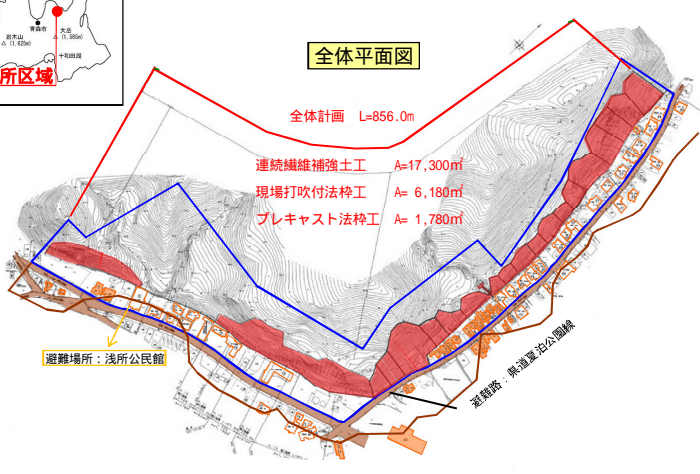
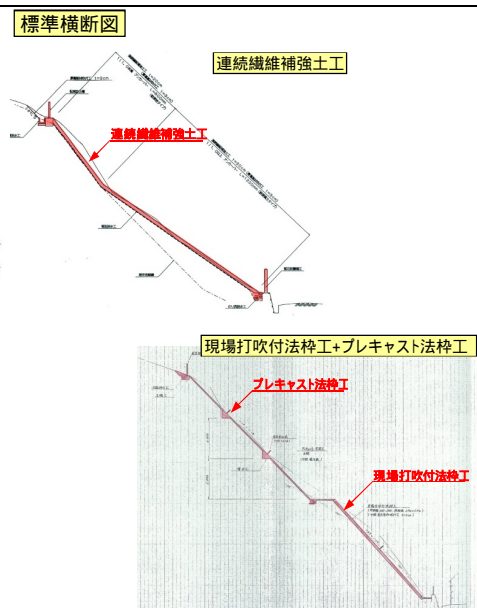
公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 27	
事業種別	道路改築	事業主体	青森県	
事業名	松野木姥范線 道路改築事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	福岡 (五所川原市)	事業方法	国庫補助	交付金 県単独
		財源・負担区分	国 55%	県 45% 市町村 % その他 %
事業の背景・必要性	本路線は、五所川原市大字松野木地内の主要地方道五所川原金木線を起点とし、同市大字姥范地内の一般国道101号に接続する延長5.2kmの路線である。 当該事業は、現道部の幅員狭小(Wmin=3.5m、歩道なし)、急カーブ(Rmin=18m)の区間を解消し、道路交通の円滑化や沿線住民の安全性の向上を目的としてバイパス整備を実施したものである。			
主な事業内容 (事業量)	全体延長 L=1,200m 道路幅員 W=6.0(9.0)m			
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) 走行時間短縮 走行費用減少 交通事故減少 冬期間の走行速度向上 (その他の効果) 津軽道五所川原IC、五所川原東IC及び五所川原市街地へのアクセス向上 走行快適性の向上 歩行者の安全確保			
事業の実施経過	(事業着手) 平成11年度	(用地着手) 平成16年度	(工事着手) 平成20年度	(事業完了) 平成22年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(年) 〔当初計画時〕	再評価時(平成20年)	事後評価時(平成27年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H11 ~ H22	H11 ~ H22	H11 ~ H22	
総事業費	450 百万円	450 百万円	454 百万円	
計画変更の実施時期	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	~	~	~	~
総事業費	百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	・平成20年度に再評価を実施。対応方針：継続、個別附帯意見：なし ・道路事業における全体事業費の減少傾向により完了予定工区への配分を優先したことから、事業着手から用地着手までに時間を要した。			
(事業概要図)				
担当部課室名	県土整備部 道路課	電話番号	017 - 734 - 9651	
		E-MAIL	doro @pref.aomori.lg.jp	


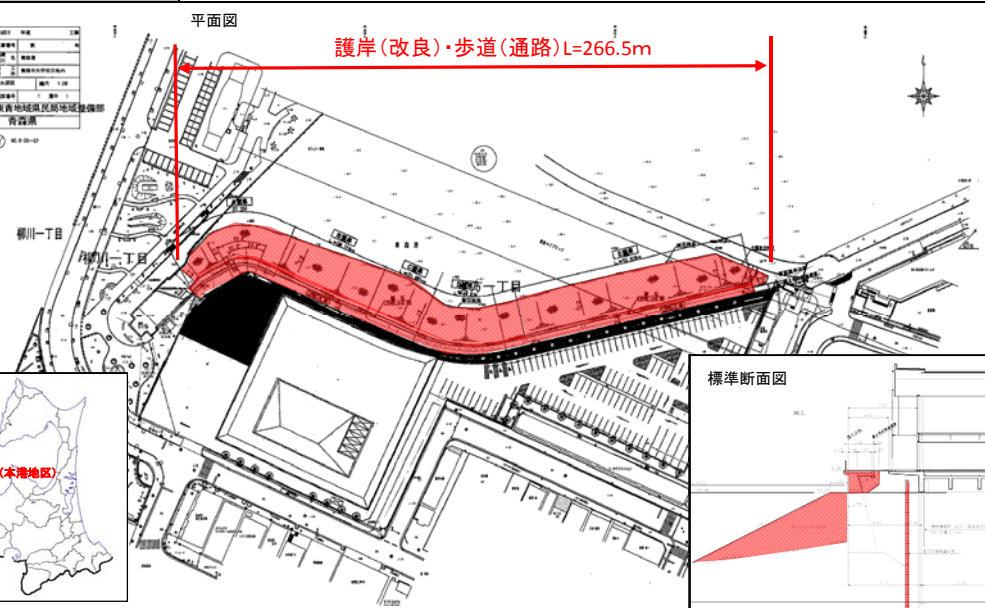
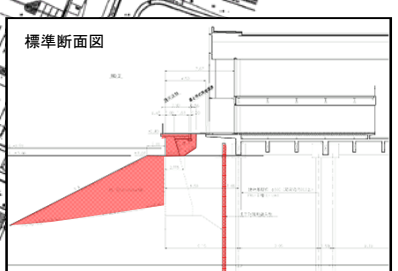
公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 37		
事業種別	海岸保全施設整備事業	事業主体	青森県		
事業名	高潮対策事業	管理主体	青森県		
箇所名等 (市町村名)	横道海岸 (おいらせ町)	事業方法	国庫補助	交付金	県単独
		財源・負担区分	国 50%	県 50%	市町村 % その他 %
事業の背景・必要性	横道海岸は、太平洋側に面した砂浜海岸で、背後には百石工業団地及び人家等の資産が集積しているが、度重なる波浪等により、前浜が後退・消失し、背後地が侵食され、越波被害が生じている状況であった。このことから、堤防、ヘッドランド等の整備により、背後地を高潮・波浪から防護し、併せて海浜の安定化を図ったものである。また事業期間当時、高い確率で発生が予測されていた、日本海溝・千島海溝周辺の大規模地震への対策として堤防の耐震改良、津波対策として堤防の嵩上げを行ったものである。				
主な事業内容 (事業量)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堤防工 L=1,673m ・ ヘッドランド工 N=3基 (300m/基 × 3基=900m) ・ 堤防耐震対策・嵩上げ L=2,400m 				
想定した事業効果	(金銭価値化が可能な効果) ・ 想定浸水地域(津波・高潮)の被害軽減効果(家屋、事業所、農作物資産等) (その他の効果) ・ 人命等の人的被害 ・ 被災事業所の営業停止による周辺事業所への波及被害				
事業の実施経過	(事業着手) 昭和48年度 (用地着手) -		(工事着手) 昭和48年度		(事業完了) 平成22年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(-年) (当初計画時)	再評価時(H10)	再評価時(H15)	再評価時(H20)	事後評価時(H27) (最終実績)
事業期間(事業着手～事業完了)	S48 ~ H16	S48 ~ H16	S48 ~ H18	S48 ~ H23	S48 ~ H22
総事業費	4,600 百万円	4,600 百万円	5,551 百万円	7,575 百万円	7,105 百万円
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H15年)	第2回計画変更(H18年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	
事業期間(事業着手～事業完了)	S48 ~ H18	S48 ~ H23	~	~	
総事業費	5,551 百万円	7,575 百万円		百万円	百万円
特記事項	・ これまで過去3回(H10,H15,H20)の再評価を実施。 対応方針 継続 個別附帯意見 なし ・ 第1回計画変更時は、事業完了に向けた事業費の精査による総事業費の増。 ・ 第2回計画変更時は、堤防耐震対策・嵩上げ事業の追加に伴う総事業費の増。				
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 30%;"> <p>事業概要図</p> </div> <div style="width: 65%;"> <p><堤防標準横断面図> (耐震対策・嵩上げ後)</p> <p><ヘッドランド標準横断面図></p> </div> </div>					
担当部課室名	県土整備部 河川砂防課	電話番号	017 - 734 - 9665		
		E-MAIL	kasensabo @pref.aomori.lg.jp		

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 38	
事業種別	急傾斜地崩壊対策事業	事業主体	青森県	
事業名	急傾斜地崩壊対策事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	浅所 (平内町)	事業方法	国庫補助	交付金 県単独
		財源・負担区分	国 47.5%	県 47.5% 市町村 5% その他 %
事業の背景・必要性	浅所区域は青森県平内町夏泊半島の東部に位置し、保全対象として人家60戸、避難場所の浅所公民館を含む急傾斜地である。過去に斜面の小崩落が発生しており、斜面が不安定な状況にあることから、豪雨時に大規模な斜面崩壊の恐れが懸念される。このことから、急傾斜地の崩壊による災害から住民の生命・財産を保護するため急傾斜地対策工事を実施した。			
主な事業内容 (事業量)	プレキャスト法砕工 A = 1,780m ² 現場打吹付法砕工 A = 6,180m ² 連続繊維補強土工 A = 17,300m ²			
想定した事業効果	<p>(金銭価値化が可能な効果)</p> <p>人家等への直接被害軽減効果 人命保護効果 公共施設被害軽減効果(道路)</p> <p>(その他の効果)</p> <p>避難場所の被災による機能不全の防止 交通途絶による迂回損失の防止 住民の長期避難による精神的苦痛の軽減</p>			
事業の実施経過	(事業着手) H10	(用地着手)	(工事着手) H10	(事業完了) H22
公共事業評価の実施時期	事前評価時(-年) [当初計画時]	再評価時(H19年)	事後評価時(H27年) [最終実績]	
事業期間(事業着手～事業完了)	H10 ~ H21	H10 ~ H21	H10 ~ H22	
総事業費	913 百万円	913 百万円	901 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(H20年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H10 ~ H22	~	~	~
総事業費	913 百万円	百万円	百万円	百万円
特記事項	平成19年度に再評価(長期継続による)を実施。 対応方針 継続 個別附帯意見 なし			
<p>(事業概要図)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>位置図</p>  <p>全体平面図</p>  <p>全体計画 L=856.0m</p> <p>連続繊維補強土工 A=17,300m²</p> <p>現場打吹付法砕工 A=6,180m²</p> <p>プレキャスト法砕工 A=1,780m²</p> <p>避難場所：浅所公民館</p> <p>道暫設、県道夏泊公民館</p> </div> <div style="width: 45%;"> <p>標準横断面図</p>  <p>連続繊維補強土工</p> <p>現場打吹付法砕工+プレキャスト法砕工</p> <p>プレキャスト法砕工</p> <p>現場打吹付法砕工</p> </div> </div>				
担当部課室名	県土整備部 河川砂防課	電話番号	017 - 734 - 9670	
		E-MAIL	kasensabo @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 45	
事業種別	港湾事業	事業主体	青森県	
事業名	青森港文化観光交流拠点のみなとオアシスづくり支援事業	管理主体	青森県	
箇所名等 (市町村名)	本港地区 (青森市)	事業方法	○ 国庫補助 ● 交付金 ○ 県単独	
		財源・負担区分	●国 33.3%、50% ●県 50%、40% ●市町村16.7%、10% ○その他 %	
事業の背景・必要性	本事業は、八甲田丸を中心として設定されている「みなとオアシス」の支援事業として、本港地区に点在する交流施設において、青函緑地・青い海公園・青森駅間の連携・回遊性を強化するため、護岸の改良及び歩道(通路)の整備を行い、本港地区の一体的な導線を確保し、周辺地域の交流人口拡大を図るとともに、文化観光交流拠点として賑わい空間の創出を図り、住民・観光客が親しみやすいみなとづくりを促進するものである。			
主な事業内容(事業量)	護岸(改良)L=266.5m、歩道(通路)L=266.5m			
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 なし 《その他の効果》 アスパムの入場者数の増加、八甲田丸の入場者数の増加 周辺地域の交流人口拡大、文化観光交流拠点として賑わい空間の創出、住民・観光客が親しみやすいみなとづくり促進			
事業の実施経過	《事業着手》平成19年度 《用地着手》		《工事着手》平成20年度 《事業完了》平成22年度	
公共事業評価の実施時期	事前評価時(18年) 〔当初計画時〕	再評価時(年)	事後評価時(27年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H19 ~ H21	~	H19 ~ H22	
総事業費	280 百万円	百万円	427 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(20年)	第2回計画変更(21年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)
事業期間(事業着手～事業完了)	H19 ~ H22	H19 ~ H22	~	~
総事業費	459 百万円	427 百万円	百万円	百万円
特記事項	平成20年度に280百万円→459百万円 周辺地盤沈下対策工(文化観光交流施設の沈下対策)の追加による増。			
《事業概要図》 <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: flex-start;"> <div style="width: 20%;">  <p>青森県 青森港(本港地区)</p> </div> <div style="width: 60%; text-align: center;"> <p>平面図</p>  <p style="color: red; font-weight: bold;">護岸(改良)・歩道(通路)L=266.5m</p> </div> <div style="width: 20%;"> <p>標準断面図</p>  </div> </div>				
担当部課室名	県土整備部 港湾空港課	電話番号	017 - 734 - 9677	
		E-MAIL	kowan @pref.aomori.lg.jp	

公共事業事後評価選定候補調書

1 事業概要		整理番号	H27 - 48		
事業種別	港湾事業	事業主体	青森県		
事業名	八戸港港湾環境整備事業 緑地(第2ふ頭)	管理主体	青森県		
箇所名等 (市町村名)	河原木地区 (八戸市)	事業方法	● 国庫補助 ○ 交付金 ○ 県単独		
		財源・負担区分	(H3～H17)●国 33.3%、50%●県 66.7%、50%○市町村%○その他% (H18～H22)●国50%●県40%●市町村10%○その他 %		
事業の背景・必要性	八戸港は工業地帯に特化してきているが、港湾利用者や一般市民が日常的に利用でき、海へのふれあいの場となる場所が少ないため、憩える快適な親水空間の創出により港湾環境の改善を図る。				
主な事業内容(事業量)	緑地A=41,000㎡(通路工N=1式、芝生、植樹工N=1式、休憩所工N=1式、広場工N=1式、駐車場工A=2,800㎡)				
想定した事業効果	《金銭価値化が可能な効果》 交流・レクリエーション機会増加 《その他の効果》 災害時には避難場所等のオープンスペースとして使用でき、被災者の安心感が生まれる。				
事業の実施経過	《事業着手》平成3年度 《用地着手》		《工事着手》平成4年度		《事業完了》平成22年度
公共事業評価の実施時期	事前評価時(一年) 〔当初計画時〕	再評価時(12年)	再評価時(17年)	事後評価時(27年) 〔最終実績〕	
事業期間(事業着手～事業完了)	H3 ～ H17	H3 ～ H17	H3 ～ H22	H3 ～ H22	
総事業費	3,130 百万円	3,130 百万円	3,470 百万円	2,997 百万円	
計画変更の実施時期	第1回計画変更(15年)	第2回計画変更(22年)	第 回計画変更(年)	第 回計画変更(年)	
事業期間(事業着手～事業完了)	H3 ～ H22	H3 ～ H22	～	～	
総事業費	3,470 百万円	2,997 百万円	百万円	百万円	
特記事項	—				
《事業概要図》	<div style="text-align: center;"> <p style="text-align: center;">平面図</p> <p style="text-align: center;">緑地A=41,000㎡</p> <p style="text-align: center;">標準断面図</p> </div>				
担当部課室名	県土整備部 港湾空港課	電話番号	017 - 734 - 9677		
		E-MAIL	kowan @pref.aomori.lg.jp		